

4. 木質燃料の生産（6）

世界有数の木質ペレット輸出国にのし上がったベトナムの実態

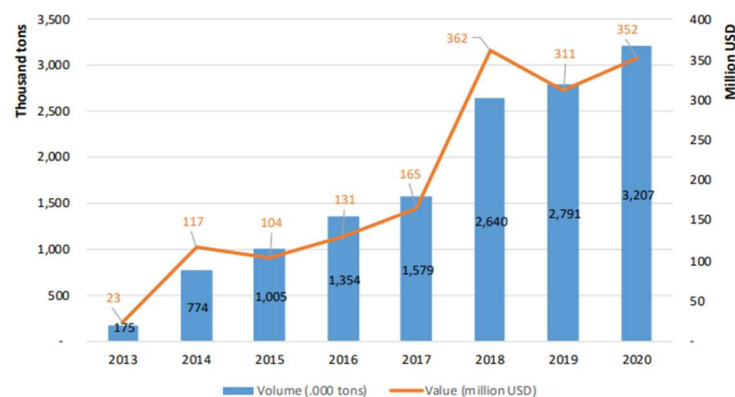
参考レポート：[Vietnam Wood Pellet Brief.indd \(forest-trends.org\)](http://forest-trends.org/Vietnam-Wood-Pellet-Brief.indd)

ベトナムの木質ペレット輸出は2013年に韓国向けを発端として始まった。その動機は韓国産製品の輸入に使われた多数のコンテナを空で韓国に返送していたが、主要産業である家具生産で発生するおが粉を原料にペレットを製造し、空コンテナに詰めて韓国へ輸出したのが始まりとされている。その後韓国の、さらに2015年からは日本の発電需要に支えられ輸出量は急増し2020年の輸出量は320万tに達し（図表4.7）、USAに次いで世界第2次の木質ペレット輸出国に上り詰め、世界的にも注目されている。

2021年時点でのペレット工場数は80工場、生産能力は420万tと言われているが、未登録の小規模な工場を合わせると300工場近くに達すると推計されている。ベトナム産ペレットの特徴である低価格は、これら未登録の小規模工場による低品質製品の存在が原因となっている。また輸出業者は74社存在し、そのうち年間輸出量5万t以上の大企業が17社（23%）、2～4.9万tの中企業が10社（13%）、2万t未満の小企業が47社（64%）となっている。ペレット原料としては、大規模生産者はアカシアやユーカリの一部FSC認証を受けた人工林材が使用されるが、小規模生産者は地元で入手可能な木材や、あるいはブローカー斡旋による木材を無差別に使用するケースが多い。

以上のようにベトナムのペレット業界は急成長している背景に、以下に示すいくつかの課題が内在している。

- 1) 使用原料の管理や規制が統制されていない ⇒品質低下、低価格の原因
- 2) 木質ペレットの生産と輸出は政府による調整がない ⇒成り行き任せ
- 3) 生産者と輸出業者間の調整がほとんどない ⇒不公正な競争と低価格の助長
- 4) 小規模な生産者と輸出業者の市場情報不足と無理解 ⇒合法性や事業計画の欠如



Source: General Department of Vietnam Customs, as compiled by joint research team from Vietnamese timber associations and Forest Trends

図表4.7 ベトナムのペレット輸出（輸出量と輸出額）